

開講科目名 / Course	食と農のこれからを考える / Study of Food and Agriculture
時間割コード / Course Code	R1001018_G1
開講所属 / Course Offered by	共通 /
ターム・学期 / Term・Semester	2020年度 / Academic Year 第3クォーター / 3Q
曜限 / Day, Period	火 / Tue 5
開講区分 / semester offered	後期 / the latter term
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	1,2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	岸上 光克 / KISHIGAMI Mitsuyoshi
科目区分 / Course Group	-
授業形態 / Lecture Form	
教室 / Classroom	
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	岸上 光克 / KISHIGAMI Mitsuyoshi (大学共通)、大浦 由美 / OURA Yumi (観光学部(教員))、 藤田 武弘 / FUJITA Takehiro (観光学部(教員))
授業の概要・ねらい / Course Aims	日本の豊かな食を支える農業・農村は危機的状況にあります。一方で、近年では、全国の農村では活性化に向けて様々な取り組みが見られます。国も「地方創生」を合言葉として、農業・農村を応援しています。 本講義では、食と農の関係性の変化を把握するとともに、農業経営や都市農村交流、そして地域づくりについて現状と課題を把握し、今後の展開について検討する。 *学内外の講師がリレー方式で講義のため、外部講師の都合により入れ替えることがある
到達目標 / Course Objectives	食と農の関係性の現状と課題について理解する。
成績評価の方法・基準 / Grading Policies/Criteria	各回の講義に提出する課題(リアクションペーパー)、まとめの課題レポートなどをもとに、主任講師が総合評価を行う。
教科書 / Textbook	特に指定しません
参考書・参考文献 / Reference Book	適宜紹介します
履修上の注意・メッセージ / Notice for Students	食料・農業・農村に関心のある方は受講を勧める
履修する上で必要な事項 / Prerequisite	特になし
履修を推奨する関連科目 / Related Courses	
授業時間外学修についての指示 / Instructions for studying outside class hours	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。授業時間の約2倍の自主学修が必要です。
その他連絡事項 / Other messages	この科目は、農業をビジネスにしている方々がゲストスピーカーとして実務経験を生かし、農業・農村について教授する授業です。 オンラインによる同時双方向型(Teams等)での講義となります。 そのため、定員(150人)を設けます。 *詳細は第1回講義(ガイダンス)の際にアナウンスいたします。
授業理解を深める方法 / How to deepen your understanding of classes	
オフィスアワー / Office Hours	火曜 昼休み(12:30~13:00) 東3号館(教育学部棟)1階 南111号室(岸上研究室) 必要に応じて、メール等での質問を受け付けます。 *詳細は第1回講義(ガイダンス)の際にアナウンスいたします。
科目ナンバリング / Course Numbering	C9330002J
高等教育無償化に関する特記事項 / Special note on free higher education	

授業計画詳細 / Course schedule

回(日時) /Time (date and time)	主題と位置付け(担当) /Subjects and instructor's position	学習方法と内容 /Methods and contents	備考 /Notes
		ガイダンス、現代の農業・農村と農協： 岸上光克(和歌山大学)	
		JAわかやまにおける農業振興と地域振興： JAわかやま有志(JAわかやま)	
		日本型ガストロノミーと食文化の創造： 尾藤環(辻調理師専門学校)	
		地域における食育の推進：三國和美(紀 の川市食育推進会議)	
		フードシステムと6次産業化：菊地昌也 (桃山学院大学)	
		地域資源の活用とコミュニティビジネス： 木村則夫(株式会社秋津野)	
		農業とICT活用：佐々木茂明(Citrus)	
		森づくりと森林サービス産業：大浦由美 (和歌山大学)	
		農村集落の持続性：佐久間康富(和歌山 大学)	
		農業農村とジェンダー：植田淳子(和歌 山大学)	
		農福連携の推進：中原力哉(一麦会ソー シャルファームもぎたて)	
		都市農業の現代的価値：藤井至(和歌山 大学)	
		農業者たちと語る「食と農のこれから」： 岸上光克(和歌山大学)	